

本当のエコに つなげるために

岡山市・ノートルダム 引田 莉彩さん
清心女子大付属小4年

私がこの記事を選んだ理由は、社会の授業でゴミやリサイクルのことを学び、今、かんきょう問題にとてもきょう味があるからです。記事の「どっちがエコ？」という見出しを見た時は、「そんなの当たり前。勉強したもん。紙に決まっている。」と思いました。

でも、記事を読んでいくうちに、その考えはまちがっていたと気づきました。

まず、プラストローと紙ストローを比べた場合、一本あたりの二酸化炭素排出量は紙の方が多いという結果を読んでもおどろきました。なぜなら、プラ

スティックはかんきょうに悪いとニュースでよく見かけるし、プラストローから紙ストローへ切りかえているお店もあるからです。また、地球温暖化について調べた時、二酸化炭素などの温室効果ガスがふえて地球全体の平均気温が上がっていることを学びました。その時に、プラストローは使い捨てで、それを燃やすと二酸化炭素を排出すると知ったからです。次に、私は必ずエコバッグを持って出かけますが、それだけでかんきょうにいいことをしていると安心していました。しかし、この記事で五十〜百五十回使わないと二酸化炭素がさくげんできないので、エコバッグは使いつづけないと意味がないことも知りました。私は、今までプラスチックをただへらせばいいと思っていて、それらの行動の本当の意味を考えていませんでした。もし、この記事を読んでいなければ、私はまちがった考えのまま何となくかんきょうにいいことをしているつもりになっていたでしょう。

この記事を読んで、メディアのじょうほうやイメージに流されず、自分で調べて、何が良いか本当の意味を考えたことがとても大切なことが分かりました。これからは、リサイクルしやすいか、長く使えるか、作る時や燃やす時にどれだけ二酸化炭素を出すかなど、かんきょうにやさしい本当の意味を自分でしっかり考えて行動したいと思います。

寸評

「プラスチック製と紙製のストロー。どっち

がエコか」という記事を読み、思い

込みの危うさについてしっかりと考えています。目にする情報やイメージに流されず、自分で調べることの大切さを伝えています。